

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	TAKUMI川口		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日		～ 2024年 12月 29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2025年 1月 8日		～ 2025年 1月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さまが楽しく通えている。	普段の活動に加え季節のイベントや親子参加型のイベントなど活動内容に工夫を凝らしている。	・お子さまや保護者様のニーズに合ったイベントを今後も開催。 ・普段の活動の中でお子様が楽しめる活動を提供していく。
2	保護者様やごきょうだいが参加できるイベントを行っている。	保護者様やごきょうだいが見学するだけではなく参加できる機会をイベントとして作っている。	お子さまや保護者様のニーズに合ったイベントを今後も開催。
3	お子さまの特性や保護者様のニーズに合わせた支援を行っている。	お子さまの特性に合わせ、絵カードなどのツールを準備したり、保護者様からのニーズに合わせた支援内容を提供している。	ニーズの聞き取りの強化、お子様の特性把握を全職員ができるように徹底する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	法律上の配置は満たしていても、現場の状況的に職員の手が足りないことがある。	・個別対応のお子様が多いこと。 ・体調不良などによる急な欠勤時。	・個別対応のお子様をできるだけ分散させる。 ・余裕のある人員配置。
2	職員のスキルの差がある。	・個々の経験値の差。	・研修や教室内での事例検討会などを積極的に行っていく。
3	保護者同士の交流の機会が少ない。	親子参加のイベントは実施しているものの、親子でのかかわりとなるため、保護者同士のかわりはあまりできない。	保護者同士の交流を目的としたイベントを検討。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 TAKUMI川口

公表日 令和 7年 2月 21日

利用児童数 33

回収数 18

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	1	0	1	・少人数のため広々としていて、活動しやすいです。	嬉しいご意見ありがとうございます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	17	1	0	0	・概ね十分と思う。	ご意見ありがとうございます。お子さまに充実した支援を提供できるよう、職員の配置や役割分担を工夫してまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	2	0	0	・トイレや洗面所に関しては、もう少し子どもが使いやすいとスムーズにできるのではないかと感じる。足台や便座(補助)等。	トイレ内には踏み台と補助便座、低めのペーパーホルダーをご用意しております。洗面台には高い洗面台のみ踏み台をご用意しております。低い方の洗面台にも踏み台の設置を検討させていただきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	0	0	0	・とてもキレイです。	嬉しいご意見ありがとうございます。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	4	0	0	・スタッフのスキルの差を感じることもある。 ・子供にあわせて都度ちがう運動をさせていただいています。	ご意見ありがとうございます。職員のスキルアップのため研修を行っております。お子様への対応統一のため、今後も定期的なミーティングや研修を行ってまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17	1	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	18	0	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	0	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	1	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	0	0	0	・毎回様子をみながら変化をつけていただいています。	嬉しいご意見ありがとうございます。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6	3	3	6		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	1	0	3		・親子イベントの開催、お子様の状況に応じてご家庭でできる運動のご紹介や、困ったときの対応についての助言を行っています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	17	1	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	1	0	2	・毎回フィードバックをいただいています。	今後も丁寧なフィードバックを心がけていきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	0	0	0		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	1	2	7	・保護者同士の交流はそれほどないと思います ・姉もTAKUMIに入りたい!と言うほどイベントを楽しんでおります。いつもありがとうございます。	親子イベントや普段の見学で保護者同士が会う機会があり、保護者同士でお話されている姿も見かけますが、イベントとして保護者同士が交流できるような物はあまりなかったため今後開催を検討させていただきます。季節イベントの際にはきょうだいの参加を可能としており、お姉さま楽しんでくださっているとのこと、嬉しく思います。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	0	0	2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	0	0	1 未回答 1	・よくラインで教えていただいています。	LINEにてイベントのお知らせをしています。 Instagramでも普段の活動の様子を発信しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	0	0	2 未回答 1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	0	0	1 未回答 1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	0	0	1 未回答 1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	0	0	未回答 1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	0	0	2 未回答 1	・事故がおこったことはありません。	今後も事故がおこらないよう、細心の注意を払って療育にあたらせていただきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17	0	0	未回答 1		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15	2	0	未回答 1	・行きたくないという日もあるが、行ったら帰りは楽しかったと言う ・今日TAKUMIあるから忘れないでね。と本人から声をかけてくれるときがあり成長を感じます。 ・いつも楽しみに通っています。	嬉しいご意見ありがとうございます。今後もお子さまが楽しく通っていただけるように工夫していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	1	0	未回答 1	・運動会の種目に応じて練習を行ってもらえとても助かりました。 ・おおむね満足しています。これからも子どもにとって楽しめる場所であってほしいと思います。	嬉しいご意見ありがとうございます。来年度からのプログラムについては運動時間をしっかりと確保していけるよう調整していく予定です。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	TAKUMI川口		公表日		令和 7年 2月 21日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	法令を遵守したスペースを確保したうえで、待機場所や見学場所を工夫し、運動スペースをできるだけ広くとれるようにしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	3	ミーティング時に事前にお子様の情報の確認と役割分担をし、入念に打ち合わせをすることで効率的に支援ができるようにしている。	法律上の配置は満たしている。個別対応のお子様が多い日などは人手が欲しいと感じるときがある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	教室内は段差がない構造になっている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1	運動フロアは毎日掃除と消毒を行っている。定期的に換気も行っている。	道具が多いため、整理整頓が行き届いていないことがある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	相談室を使用することが可能。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	1	目標の設定と共有を行っている。定期的に業務について振り返りを行っている。	シフトの関係上、全員が揃うことが難しく全員参加でのミーティングができないため、休みの人は後日共有の形をとっている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	ミーティングの場で改善点を話し合っている。評価の悪い項目については改善を図っていく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	定期的に職員に意見を聞き、検討する機会を作っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	8		現在は実施していないが今後必要に応じて実施する予定。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	社内研修に積極的に参加している。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	毎日の支援プログラムは職員間で話し合って作成、毎回掲示している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	日々の支援記録をもとにアセスメントを行い、面談等にてニーズを把握した上で作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	児発管と職員で情報共有を行ったうえで一緒に検討・作成している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	1	職員が支援プログラム作成の際に支援計画をすぐに確認できるようにしており、基本的には目標をもとに支援を考えている。	クラスの利用人数が多い時は全員の支援計画に沿って支援を行うことが難しいことがある。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1	日々の支援の記録をもとにアセスメントをとっている。	今後作成を検討。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	ひとりひとりがサービス計画に沿って基本活動(自立支援、日常生活充実のための活動など)を複数行っている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	毎日支援前のミーティングで話し合って決めている。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	職員一人一人のアイデアを取り入れたり、SNSなどを活用して新しいメニューを取り入れている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	保護者や児童の要望に沿って目標を作成している。基本的には集団での療育を行っているが、おさまの状況に合わせて、小集団や個別での療育もしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	支援前に毎日必ず打ち合せの時間を確保し、支援内容の決定、役割分担を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	支援終了後に本日の支援の記録をつけるとともに、気づいた点について話し合っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	支援終了後におさまごとに本日の支援の記録をつけている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	定期的に面談やモニタリングを行い、計画の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	1	関係機関との情報共有の際はおさまの状況をよく理解したものが対応するようにしている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1	一部の児童の保育園と互に見学したり情報を共有するなどの連携を行っている。	地域の保健、医療、障害福祉、教育等の関係機関とは連携が薄いため、今後必要性を見直していきたい。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1	一部の児童の幼稚園と互いに活動の様子を見学したり情報を共有するなどの連携を行っている。	一部の児童の幼稚園・保育園としか連携ができていないので、連携を増やしていきたい。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	0	8		現在は行っていない。今後必要に応じて検討したい。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8	0	児童発達支援センターを見学させていただくなど、連携を図っている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	8		今後必要に応じて検討していきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	フィードバック時や受け入れの際におさまのご様子を聞くようにしている。保護者の方から聞いた情報は記録し、職員間で共有している。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	家族が参加できるイベントを定期的に行っている。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	運営規定の内容や利用者負担額については、主に契約時に説明している。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	定期的な面談によりおさまや保護者様の希望を聞き取った上で支援計画を作成している。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	支援計画を保護者様と一緒に確認してから同意をいただいている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	必要に応じてフィードバック時に助言を行っている。保護者からの要望があれば、随時面談もやっている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	3	季節のイベントは保護者様やご兄弟も参加いただける形で開催している。	保護者会等、保護者のみが集まる機会は作っていないため、今後必要に応じて開催を検討する。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	相談や申し入れに対しては迅速に対応するようにしている。必要に応じて面談などの設定も可能としている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	保護者様に向けてはSNSを活用してイベントの情報発信を行っている。お子様に向けてはPOPを掲示するなど紙媒体での情報発信を行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	個人情報が含まれる書類を破棄する際はシュレッダー処理を行っている。利用児童の個人情報は鍵付きキャビネットの中に保管している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	支援の際は必要に応じて絵カードなどを使用している。保護者への情報伝達は紙媒体やSNSメッセージなどさまざまな媒体を用意し、保護者様に合わせて活用している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	8		現在は行っていない。今後必要に応じて検討する。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定するとともに、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	定期的に訓練を実施し、保護者に周知している。左記マニュアルに沿って職員に周知し、訓練にも取り組んでいる。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	年1回以上地震避難訓練、火災避難訓練、不審者対応訓練、風水害の避難訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	契約の際にフェイスシートに情報を記載いただいている。いつでも確認できるように個人ファイルに資料があり、児童名簿に情報をまとめている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	食事の提供はしていないが、アレルギーについてフェイスシートに記入いただき児童名簿にまとめてある。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	地震避難訓練、火災避難訓練、不審者対応訓練、風水害の避難訓練、感染症や虐待防止の関する研修などを行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	取組内容を記した文書を保護者様がいつでも閲覧できるようにしてある。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	ヒヤリハットがあった際には書類に記録し、事業所内で共有、今後の対策を検討している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	定期的に研修を行い、何か気になることがあれば職員間で共有するようにしている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0	組織的に決定しており、お子様や保護者様には契約時に必ず説明し、了承を得ている。		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	TAKUMI川口		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日		2024年 12月 29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	2025年 1月 8日		2025年 1月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さまが楽しく通えている。	普段の活動に加え季節のイベントや親子参加型のイベントなど活動内容に工夫を凝らしている。	・お子さまや保護者様のニーズに合ったイベントを今後も開催。 ・普段の活動の中でお子様が楽しめる活動を提供していく。
2	保護者様やごきょうだいが参加できるイベントを行っている。	保護者様やごきょうだいが見学するだけではなく参加できる機会をイベントとして作っている。	お子さまや保護者様のニーズに合ったイベントを今後も開催。
3	お子さまの特性や保護者様のニーズに合わせた支援を行っている。	お子さまの特性に合わせ、絵カードなどのツールを準備したり、保護者様からのニーズに合わせた支援内容を提供している。	ニーズの聞き取りの強化、お子様の特性把握を全職員ができるように徹底する。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	法律上の配置は満たしていても、現場の状況的に職員の手が足りないことがある。	・個別対応のお子様が多いこと。 ・体調不良などによる急な欠勤時。	・個別対応のお子様をできるだけ分散させる。 ・余裕のある人員配置。
2	関係機関との連携の機会が少ない。	保護者からの希望がない。 送迎がないため学校の関係者と顔を合わせる機会がない。	連携が必要なお子様がいた場合は事業所側から積極的に動いていく。
3	保護者同士の交流の機会が少ない。	親子参加のイベントは実施しているものの、親子でのかかわりとなるため、保護者同士のかかわりはあまりできない。	保護者同士の交流を目的としたイベントを検討。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 TAKUMI川口

公表日 令和 7年 2月 21日

利用児童数 33

回収数 17

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	1	1		天井が低く感じる。	ご意見ありがとうございます。天井が低い中でも楽しめる運動を提供していきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	17					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	2				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	4				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16	1				
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	1				
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	1	13	1		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	1				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	3	2	3		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	15	2				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	2	1			
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	2				
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	4	6	2		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	2		2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	1		2		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	2		1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	1		1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	1		1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16			1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	1		1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15	1		1		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	5				
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	1				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		TAKUMI川口		公表日		令和 7年 2月 21日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	法令を遵守したスペースを確保したうえで、待機場所や見学場所を工夫し、運動スペースをできるだけ広くとれるようにしている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	3	ミーティング時に事前にお子様の情報の確認と役割分担をし、入念に打ち合わせをすることで効率的に支援ができるようにしている。	法律上の配置は満たしている。個別対応のお子様が多い日などは人手が欲しいと感じるときがある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	教室内は段差がない構造になっている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1	運動フロアは毎日掃除と消毒を行っている。定期的に換気も行っている。	道具が多いため、整理整頓が行き届いていないことがある。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	相談室を使用することが可能。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	1	目標の設定と共有を行っている。定期的に業務について振り返りを行っている。	シフトの関係上、全員が揃うことが難しく全員参加でのミーティングができないため、休みの人は後日共有の形をとっている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		ミーティングの場で改善点を話し合っている。評価の悪い項目については改善を図っていく。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		定期的に職員に意見を聞き、検討する機会を作っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	8		現在は実施していないが今後必要に応じて実施する予定。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	社内研修に積極的に参加している。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	毎日の支援プログラムは職員間で話し合って作成、毎回掲示している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	日々の支援記録をもとにアセスメントを行い、面談等にてニーズを把握した上で作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	児発管と職員で情報共有を行ったうえで一緒に検討・作成している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	職員が支援プログラム作成の際に支援計画をすぐに確認できるようにしており、基本的には目標をもとに支援を考えている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	日々の支援の記録をもとにアセスメントをとっている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	ひとりひとりがサービス計画に沿って基本活動(自立支援、日常生活充実のための活動など)を複数行っている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	毎日支援前のミーティングで話し合って決めている。		

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	職員一人一人のアイデアを取り入れたり、SNSなどを活用して新しいメニューを取り入れている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	保護者や児童の要望に沿って目標を作成している。基本的には集団での療育を行っているが、お子さまの状況に合わせ、小集団や個別での療育も行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	支援前に毎日必ず打ち合せの時間を確保し、支援内容の決定、役割分担を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	支援終了後に本日の支援の記録をつけるとともに、気づいた点について話し合っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	支援終了後にお子さまごとに本日の支援の記録をつけている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	定期的に面談やモニタリングを行い、計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8		ひとりひとりがサービス計画に沿って基本活動(自立支援、日常生活充実のための活動など)を複数行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	関係機関との情報共有の際はお子様の状況をよく理解したものが対応するようにしている。	
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	5	3	保護者との連携を取り、トラブルが起きないようにしている。学校のおたよりをホームページなどから確認している。事業所での送迎がないため、保護者様が送迎でいらしゃった際に情報共有を行っている。	学校との直接的な情報共有等の連携は現在行っていない。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	2	希望があった場合は行っている。	連携の機会は少ないので今後必要に応じて増やしていきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	8		今まで障害福祉サービス事業所に移行した事例がない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	2	児童発達支援センターを見学させていただくなど、連携を図っている。	連携の機会は少ないので今後増やしていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	8		現在は行っていない。今後必要に応じて検討する。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	0	8		現在は行っていない。今後必要に応じて検討する。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	フィードバック時や受け入れの際にお子さまの様子を聞くようにしている。保護者の方から聞いた情報は記録し、職員間で共有している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1	家族が参加できるイベントを定期的に行っている。	家族向けの研修等は行っていないため必要に応じて今後検討する。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	運営規定の内容や利用者負担額については、主に契約時に説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	定期的な面談によりお子様や保護者様の希望を聞き取った上で支援計画を作成している。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	支援計画を保護者様と一緒に確認してから同意をいただいている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	必要に応じてフィードバック時に助言を行っている。保護者からの要望があれば、随時面談もやっている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	3	季節のイベントは保護者様やごきょうだいも参加いただける形で開催している。	保護者会等、保護者のみが集まる機会は作っていないため、今後必要に応じて開催を検討する。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	苦情に対しては迅速に対応するようにしている。必要に応じて面談などの設定も可能としている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	保護者様に向けてはSNSを活用してイベントの情報発信を行っている。お子様に向けてはPOPを掲示するなど紙媒体での情報発信を行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	個人情報が含まれる書類を破棄する際はシュレッダー処理を行っている。利用児童の個人情報は鍵付きキャビネットの中に保管している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	支援の際には必要に応じて絵カードなどを使用している。保護者への情報伝達は紙媒体やSNSメッセージなどさまざまな媒体を用意し、保護者様に合わせて活用している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	8		現在は行っていない。今後必要に応じて検討する。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	定期的に訓練を実施し、保護者に周知している。左記マニュアルに沿って職員に周知し、訓練にも取り組んでいる。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	年1回以上地震避難訓練、火災避難訓練、不審者対応訓練、風水害の避難訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	契約の際にフェイスシートに情報を記載いただいている。いつでも確認できるように個人ファイルに資料があり、児童名簿に情報をまとめている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	食事の提供はしていないが、アレルギーについてフェイスシートに記入いただき児童名簿にまとめている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	地震避難訓練、火災避難訓練、不審者対応訓練、風水害の避難訓練、感染症や虐待防止の関する研修などを行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	取組内容を記した文書を保護者様がいつでも閲覧できるようにしてある。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	ヒヤリハットがあった際には書類に記録し、事業所内で共有、今後の対策を検討している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	定期的に研修を行い、何か気になることがあれば職員間で共有するようにしている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	組織的に決定しており、お子様や保護者様には契約時に必ず説明し、了承を得ている。		